

まつど SDGs キャラバンメンバーシップ宣言書

2024 年 9 月 26 日

企業・団体名 有限会社恩田畳店

代表者役職・氏名 代表取締役 恩田忠治

SDGs 達成に向けて、以下のとおり取り組むことを宣言します。

1 SDGs 達成に向けて、現在取り組んでいること

伝統的な製品を扱いながら持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまな分野で可能です。以下は、畳業界が SDGs に向けて取り組む具体的な例です。

自然素材の使用：畳はイグサなどの自然素材を使用するため、化学製品に比べてエネルギー消費が少なく、持続可能な素材を活用している。

伝統技術の保存と継承：畳製作における技術を次世代に継承し、地元の産業や工芸品を守る。これにより、地域経済の発展と産業基盤の強化に貢献する。

新しい技術の導入：畳製作プロセスにおける技術革新を推進し、製品の耐久性や品質を向上させる取り組み。

廃棄物の削減とリサイクル：使用済みの畳をリサイクルすることで、廃棄物を削減し、資源の有効活用を促進する。

環境に配慮した製品づくり：化学薬品を使わずに製造されたイグサや、再生可能な材料を使った畳製品を提供し、エコロジカルなライフスタイルを推進する。

国内産イグサの使用：国内の農家から持続可能な方法で生産されたイグサを使用することで、農業の多様性と生態系の保全に貢献する。

自然環境の保護：畳の材料であるイグサは、田んぼや湿地帯の生態系を維持し、二酸化炭素の吸収など環境保全にも寄与している。

地域や他産業との連携：畳店が地域の農家や他の産業と協力し、地元の材料を使用した商品開発や共同プロジェクトを進めることで、持続可能な地域経済を構築する。

これらの取り組みを通じて、畳業界は地域社会や環境に貢献しながら、伝統と持続可能性を融合させたビジネスモデルを追求しています。

2 今後の SDGs 達成に向けて、(1)目指す方向(方針)(2)具体的に取り組みたいこと

(1)目指す方向(方針)

1. 環境に優しい素材の使用：畳表(たたみおもて)や畳床に、環境負荷が少ない天然素材や再生可能な素材を使用する。例えば、無農薬で栽培されたイグサや、リサイクル素材を取り入れた畳床を使用することで、環境への負担を減らせます。

2. リサイクル・再利用の推進：古い畳を回収してリサイクルする仕組みを作る。リサイクルされた素材を新しい製品に活用したり、畳の再利用を促進することは、廃棄物の削減に寄与します。

3. エネルギー効率の向上：店舗や製造工程で使用するエネルギーを効率化する。省エネ設備の導入や、再生エネルギーの利用を推進することで、CO2 排出量を削減できます。

4. 持続可能なビジネスモデル: 使い捨てを避け、長持ちする高品質な畳を提供することで、頻繁な交換を減らし、資源の浪費を防ぎます。

5. 地域社会への貢献: 地域の環境保護活動や教育プログラムへの参加や支援を行い、SDGs の理念を広める。例えば、地域の学校やコミュニティに対して、持続可能な生活や伝統文化の大切さを

6. 消費者教育: 消費者に対して、持続可能な畳やそのメリットについて情報を提挙する。持続可能な選択をすることが環境や社会にどのように貢献するかを理解してもらうことで、消費者の行動も変えることができます。

これらの取り組みによって、畳店は SDGs の目標達成に向けて前進し、持続可能なビジネスとしての価値を高めることができます。

(2) 具体的に取り組みたいこと

畳店が SDGs に向けて具体的に取り組む際、以下の施策を考えることができます。これらは持続可能な社会の実現に寄与し、環境や社会に配慮した経営モデルを目指すための具体的な取り組みです。

1. 環境に優しい製品の提供

国産・無農薬のイグサ使用: 国産や無農薬で栽培されたイグサを積極的に使用する。これにより、環境負荷を軽減し、地元の農業支援につながる。

天然染料の使用: 伝統的な染色技術を活かし、化学染料ではなく天然染料を用いることで、環境への影響を抑える。

2. リサイクルと廃棄物削減

畳のリサイクルシステム: 古くなった畳の再利用やリサイクルプロジェクトを展開。例えば、畳の古い部分をリサイクルして断熱材や建材として活用する。

3. 省エネルギーの推進

エネルギー効率の高い機械導入: 畳を加工するための機械や設備を省エネルギー型に切り替えることで、エネルギー消費を削減する。

4. 地域コミュニティとの協力

地元産業とのコラボレーション: 地元の農家や職人と協力して、持続可能な材料を使用した製品開発を行う。また、地域の伝統産業の活性化にも寄与する。

地域共育との連携: 地元の学校と協力して、畳作りの体験教室やワークショップを開催し、若者に伝統工芸の大切さを伝える。

6. 持続可能な農業支援

イグサの持続可能な栽培支援: 畳の主材料であるイグサを持続可能な方法で栽培する農家を支援し、農業の多様性や生態系保護に貢献する。

地産地消の推進: 地元で生産されたイグサを使うことで、輸送エネルギーを抑え、地元経済を支える。

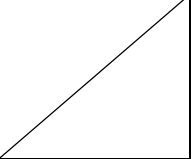
7. お客様への啓発活動

エコロジーなライフスタイルの提案: 畳の使用が室内の湿度調整や空気清浄に役立つことをお客様に説明し、エコロジカルな住環境の実現を提案する。

持続可能な製品の選択肢の提供: エコや SDGs に配慮した畳の選択肢をお客様に提供し、持続可能な暮らしを支援する。

これらの具体的な取り組みを通じて、環境負荷の低減や社会への貢献を実現しながら、伝統と持続可能性のバランスを取ったビジネスを展開できます。

3 取組みを通じて目指したい SDGs のゴール(☑を入れてください。複数選択可)

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
☐	☐	☐	☐	☐	☐
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
☐	☐	☒	☐	☒	☒
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
☐	☐	☐	☐	☐	